

## 保育園自己評価表

令和 6年度

項目	評価内容	評価結果					意見・対応
運営管理	1 保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	(A)	B	C	D	E	・保育紹介パンフレットを配布。 ・重要事項の説明を実施。 ・ホームページでの閲覧が可能。 ・毎月定例職員会議を開催。 ・各クラスの打合せ会議を実施。 ・園長・副園長・主任・クラス担任の責任と役割を明確化。
	2 定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	(A)	B	C	D	E	
	3 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	(A)	B	C	D	E	
守秘義務	1 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	(A)	B	C	D	E	・管理場所を設定し、データはパスコードで保護し管理している。 ・職員会議で職員に周知し、守秘義務をの徹底を図っている。
	2 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	(A)	B	C	D	E	
安全・危機管理	1 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができるところにある	(A)	B	C	D	E	・事務室に見守りカメラを5ヵ所設置し、職員がすぐ見られるようにしている。 ・毎年12月に訓練を行う。 ・緊急時の際の医療機関の連絡先を明記している。 ・施設整備・遊具など定期的に保守点検をしている。
	2 外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	(A)	B	C	D	E	
	3 緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	(A)	B	C	D	E	
	4 園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的に実施している	(A)	B	C	D	E	
保育環境	1 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切にし心地よい環境で保育ができるように努めている	(A)	B	C	D	E	保育環境は、清潔を保持し、季節感に配慮している。室内は感染症対策のため空気清浄機を設置し、換気と採光を行っている。 園庭では泥と水でたっぷり遊べる環境を整備し、園児が花苗を植え、葉の成長や開花を観察・鑑賞できるようしている。 近年は高温多湿による雑草繁茂への対策を行っている。
	2 室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	(A)	B	C	D	E	
	3 季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	(A)	B	C	D	E	
	4 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	(A)	B	C	D	E	
健康管理・衛生	1 園児の健康診断は定期的に実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	(A)	B	C	D	E	・医科と歯科をそれぞれ年2回実施。結果は保護者や職員に伝え、保育に反映している。 ・園児の健康状態を把握し、体調を見ながら保育に取り組む。 ・玩具・遊具など使用前後の消毒を行い衛生に特に留意して管理している。 ・マニュアルを整備し感染症の予防に取り組んでいる。
	2 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	(A)	B	C	D	E	
	3 玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	(A)	B	C	D	E	
	4 SIDS(乳児突然死症候群)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	(A)	B	C	D	E	
保育内容	1 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	(A)	B	C	D	E	健康な身体づくり、意欲のある子どもに育てることを大事にした保育に取り組む。
	2 園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている	(A)	B	C	D	E	各年齢の発達をしっかりととらえ、日々生き生きと生活できるよう心掛ける。生活リズム、遊び、仲間づくりを大切にどの子も育ち合う保育をしている。保護者との情報交換は送迎時その他、必要に応じて面接を行っている。
	3 基本的生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	(A)	B	C	D	E	園外保育の散歩をはじめ、ハイキング、プール遊び、登山を実施。園児が感じたことを絵に表現できるようにしている。
	4 園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	(A)	B	C	D	E	
	5 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	(A)	B	C	D	E	
	6 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	(A)	B	C	D	E	
食育	1 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	(A)	B	C	D	E	低農薬無農薬で旬の食材を使用するようしている。特に調味料は完全自然食のものを使用。和食中心の献立で、完全給食を実施。ご飯も三分付きや雑穀を混ぜている。
	2 園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	(A)	B	C	D	E	アレルギー食は、給食室と密に連絡を取って対応している。感染症対策のため対面や密を避けて食事している。
	3 毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知られている	(A)	B	C	D	E	
	4 食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	(A)	B	C	D	E	
子育て支援・地域交流	1 園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	(A)	B	C	D	E	公開保育や親子遠足、敬老参観など保護者の方に日頃の園の様子を見てもらい、保育を伝えながら過ごすことができた。中学生の職場体験も、保育園で一日過ごしてもらい、子どもたちとの交流もたっぷりでき保育園の様子を知ってもらう機会となつた。
	2 虐待防止について定期的に学習を行い、虐待の早期発見に努めている	(A)	B	C	D	E	
	3 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	(A)	B	C	D	E	
	4 中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	B	C	D	E	

評価 A…理想的な状態、達成できている状態 100%

B…達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%

C…通常普通に行われている状態 70～80%

D…頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%

E…ほとんど達成できていない状態 30%以下